



「わが村は美しくー北海道」運動パネル展を大通B I S S Eで開催！

～わが村運動の取組についてご紹介します～

北海道開発局が取り組んでいる「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」といいます。）について、（株）北洋銀行との連携協力協定に基づき、「わが村運動」やコンクールをPRします。

北海道開発局では、道内の農山漁村の活性化に貢献する住民主体の活動を支援し地域の発展に資するため、「わが村運動」を推進しています。

このたび、北海道の地域活性化への寄与を目的として、連携協力協定を締結している（株）北洋銀行の協力を得て、大通B I S S Eにおいて、「わが村運動」のPRのほか、運動の一環として2年に一度のサイクルで開催しているコンクール（現在第10回コンクール審査中）の応募団体の紹介などを行います。

記

- 【展示日程】 令和3年12月14日(火) 10:00 ～ 16日(木) 16:00まで（3日間）
【展示場所】 大通B I S S E 1階ロビー＜札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター＞
【展示内容】 「わが村運動」の概要及び現在審査中のコンクール応募団体を紹介するポスターを展示するほか、過去のコンクール応募団体のチラシ等を配布します。

＜添付資料＞

- 別紙1 : 「わが村は美しくー北海道」運動とは
別紙2 : 「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール
別紙3 : 「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール応募団体紹介（抜粋）
参 考 : 前回パネル展開催状況

「わが村運動」の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 桃井 謙爾（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村振興第1係長 佐藤 涼子（内線 5680）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



参加しよう 広げよう いいものの伝えよう

「景観」の形成

魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」
のブランド化

活発な
「人の交流」

「わが村は美しくー北海道」運動とは

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート。
- 北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていかう、との思いから生まれた運動です。

「わが村は美しくー北海道」運動の取組

- コンクールを開催し、「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます。
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動を、ホームページへの掲載、メールマガジンの配信、地域イベントでのPR活動及びフェイスブックなどにより、広く伝え、その活動を支援し波及させます。

背景写真：（一社）北海道土地改良設計技術協会主催
「北の農村フォトコンテスト」応募作品



北海道各地の地域づくりの活動を支援します！

「わが村は美しくー北海道」運動

「わが村は美しくー

北海道」運動

第10回コンクール

第9回コンクール大賞受賞 非特定営利活動法人サトニクラス



第9回コンクール大賞受賞 北海道真狩高等学校



- ◆ 応募は令和3年6月30日で締切(75団体が応募)。
- ◆ 現在、10のブロックごとの審査を実施中。
- ◆ 令和4年2月1日にブロック優秀賞等を発表予定。
- ◆ 令和4年度の大賞審査を経て、大賞を発表(R4.10予定)。

1. 目的 このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指します。
2. 応募対象 北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって地域づくりに取り組む活動を対象とします。
3. 応募用紙 **＜応募は締め切りしました＞**
4. 応募方法 **＜応募は締め切りしました＞**
5. 応募期間 令和2年12月21日(月)から令和3年6月30日(水)まで
6. 賞について
 - 優秀賞 応募していただいた団体の中から優秀な活動を選考します。
 - 奨励賞 将来性や継続性から奨励する活動を選考します。
 - 大賞 全道の優秀賞の中から先導性、モデル性の高い活動を選考します。
7. 受賞団体の発表 「優秀賞」・「奨励賞」については令和4年2月頃、「大賞」については令和4年10月頃に発表します。
※応募に関する詳細につきましては、以下の北海道開発局ホームページを御覧ください。

【主催】北海道開発局

【共催】北海道、NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク

【後援】北海道総合通信局、北海道財務局、北海道農政事務所、北海道森林管理局、北海道経済産業局、北海道運輸局、北海道市長会、北海道町村会、北海道土地改良事業団体連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、北海道日本型直接支払推進協議会、北海道漁港漁場協会、北海道木材産業協同連合会、(公財)北海道地域活動振興協会、(公社)北海道観光振興機構、(公社)北海道栽培漁業振興公社、(一財)都市農山漁村交流活性化機構、(一財)北海道農業企業化研究所、(一社)北海道商工会議所連合会、(一社)北海道消費者協会、(一社)北海道土地改良設計技術協会、(一社)シーニックバイウェイ支援センター、(一社)日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、NPO法人「日本で最も美しい村」連合、オーライ!ニッポン会議、学校法人北海道科学大学、北海道旅客鉄道(株)、(株)北洋銀行、(株)AIRDO、(株)リクルート北海道じゃらん、生活協同組合コープさっぽろ、朝日新聞北海道支社、毎日新聞社北海道支社、読売新聞北海道支社、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、日本農業新聞北海道支所、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ放送、UHB北海道文化放送、TVHテレビ北海道

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール 応募団体を紹介します！（抜粋）

【別紙3】

（株）鷹栖町農業振興公社



鷹栖町農業振興公社と旭川工業高等専門学校は、町の特産品である「オオカミの桃トマトジュース」を活用したり、キュール「リコピナーージュ」を共同で開発し、販売を行っている。



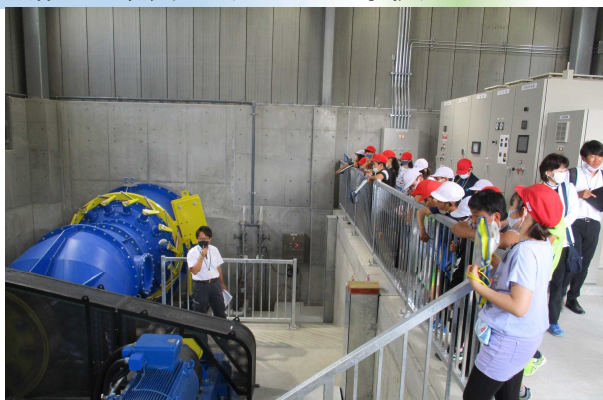
旭川市民農業大学・子ども農業体験塾



旭川市民の農業・農村・食糧への関心と理解を深めることを目的として、市内有志の農業者と旭川市が運営委員となり、大人向けの「旭川市民農業大学」と、学童向けの「子ども農業体験塾」を開催している。それぞれ一年単位で受講者を募り、通年で農作業や農産加工実習、講義等を行っている。



当麻土地改良区（田んぼの学校）



農業農村の持つ多面的機能や土地改良施設の役割等について、子どもたちを通じて広く地域の人々に理解してもらうことを目的に、田んぼを総合学習（教室）の場とした「田んぼの教室」や「土地改良施設見学会」を行政及び関係団体、小学校と連携して実施している。



東川町農業協同組合



東川町のブランド米「東川米」の認知度向上と消費拡大を図るため、東川米を使用した加工品やレシピの開発、イベント等での販売等を行っており、国内のみならず、世界に向けた発信にも取り組んでいる。



下川町ローカルフード協議会



産業間のあらゆる課題を解決し、新たなローカル資源を発見活用することで共存共栄による成長を促進させ、高付加価値の特産品製造へつなげる活動を行っている。

規格外品のフルーツマトや、近年農薬の問題で減少が見られる養蜂業の蜂蜜を使用したリキュールの製造販売を開始している。



平成31年3月6～7日 大通BISSEパネル展開催状況

